

排水管清掃マニュアル

■現場到着

1. 会社（すみき〜る）に作業開始の連絡
2. 作業員全員で管理員にあいさつ
3. 車輛設置位置を管理員に確認（居住者の駐車場を使用する場合は了解を得る）
4. 空室・時間変更・不具合箇所の有無を管理員に尋ねる

■作業前準備

1. 高圧洗浄車周辺、高圧ホースの地上接地箇所、その他の危険個所にカラーコーンを立て安全を促す（各車輛：カラーコーン常備5本）
2. 高圧洗浄車に水を貯める
 - ・水道ホースのとりまわし、居住者の妨げにならない様注意する
3. 高圧ホースを設置する
 - ・上階部よりホースを降ろす際は作業員一人が階下より安全を確認した上で水を撒き散らさないように注意して降ろす
 - ・上階部のホースを固定する箇所には養生をしておく

■居住者宅訪問

1. インターフォンを鳴らし「おはようございます（こんにちは）、排水管洗浄工事に伺いました。よろしく申し上げます。」と、ハッキリと大きな声で訪ねる。
応答の無い場合は再度インターフォンを鳴らす
 - ・むやみに鳴らさない。（2回鳴らして応答のない場合は声を出して訪ねる）
 - ・不在宅や都合の悪いお宅は時間をずらして再度訪ねる
2. インターフォンを鳴らし応答があったら居住者がドアを開けるまで待つ
 - ・居住者宅のドアには絶対に手を掛けない
3. 居住者がドアを開けられたらドアストッパーにてドアを固定
 - ・雨、風の強い時はドアの開放を最小限にする
4. 部屋に入る時は「失礼します」と言い、靴を揃えて部屋に入る
5. 居住者に流れの悪い箇所は無いか訪ね、清掃箇所・清掃方法を説明する
6. 洗浄箇所まで養生シートを敷く。（その際置物などに注意すること）
 - ・移動する場合は居住者の了解を得る
7. 洗浄ホースを部屋内に引く。
 - ・居住者の靴にホースが当たらないようにする
 - ・スイッチをしっかりとって2人で引くこと

■部屋内 作業開始

①流し台

《準備》

1. 足マット等を水がかからない所に移動し、作業する足元まで養生する
2. 物の移動は居住者の了解を得て行う
3. 流し台下排水管の造り、異常の有無（水漏れ等）をペンライトにて確認
4. シンク内カップを取り外し管内状況をペンライトにて確認
（異物はないか・汚れ具合はどうか／異物がある場合は除去しておく）

《作業》

1. ゴムマットを洗浄ホース（スネークホース）があたる箇所に敷く（傷防止）
2. 洗浄ホース（スネークホース）を管内に入れ、逆噴射しない様トラップの先まで入れる
・ディスポーザー・ジャバラ等のつくりの時は、排水管・排水ホースを外して洗浄
3. 高圧洗浄スイッチを除々に開ける（スイッチはいきなり全開にしない）
※スイッチはいつでも停止できる状態にしておく
4. 高圧洗浄にて立管まで挿入（挿入する際、引く際は、からみ・引っかかり事故防止の
為30cm程度ずつ出し入れし、確認をしながら作業する）
・洗浄中は流し台の下を開放し、水漏れの有無を確認しながら作業する
5. 立管まで挿入したら水を流しウエスにて汚れをふき取りながら引く
6. カップ、排水口付近をブラシにて清掃
7. 洗浄終了後シンク内に3分の2程度水を貯め、流れの確認を行う
・流し下より水漏れの有無も確認 また、管内をペンライトにて確認し、
汚れの具合を見る
8. 流し台周辺・シンク内を清掃後、排水口に消臭と消毒の為アルコールを噴霧
9. 移動したものを元の場所に戻し、お客様に確認して頂く
10. 洗浄前に流れが悪かった場合は水を貯めて流れの確認をして頂く

②洗面台

《準備》

1. 作業する足元まで養生する
2. 物を移動する際はお客様の了解を得て行う（トラブル防止）
3. 排水金具を取り外し、排水口よりペンライトにて管内状況を確認
（異物はないか・汚れ具合はどうか／異物がある場合は除去しておく）
4. 洗面台下排水管の造り・異常の有無（水漏れ等は無いか）をペンライトにて確認

《作業》

1. 高圧洗浄（ジェットホース）にて管内洗浄
 - ・水が飛び散らない様、ウエスにてカバーをすること
 - ・360°回しながら管内洗浄 オーバーブローも上部・下部より洗浄
場合によっては排水トラップを外して作業
 - ・洗浄中は洗面台の下を開け、水漏れの有無をペンライトにて確認しながら作業する
2. 洗浄終了後洗面台に水を3分の2程度貯めて流れの確認を行う
 - ・洗面台下より水漏れの有無をペンライトにて確認
3. 排水金具、洗面台周辺を清掃後、排水口に消臭と消毒の為アルコールを噴霧
4. 移動したものを元の場所に戻し、お客様に確認して頂く
5. 洗浄前に流れが悪かった場合は水を貯めて流れの確認をして頂く

③洗濯機

《準備》

1. 作業する足元まで養生する
2. 物を移動する際はお客様の了解を得て行う
3. 洗濯機を開けても良いか居住者に確認をとる
4. 洗濯機本体を動かす際は給水栓を止め、壁を傷付けない様注意する
5. 洗浄後の流れ確認の為洗濯機に水を3分の1程度貯める
6. カップを取り外し、ブラシにて清掃 異物が有る場合は取り除く
7. 排水口を確認 異物がある場合は取り除く

《作業》

1. 高圧洗浄（ジェットホース）にて排水口トラップの奥より洗浄
2. 洗浄終了後、洗濯機の水を排水し流れを確認（実際に洗濯機を起動）
 - ・排水ホースがきちんと付いているか、水漏れはないか確認
※洗濯パンの無い所は特に入念に確認
 - ・取り付けの弱い所は補強しお客様に説明する
また、洗濯ホースが洗濯機の足に踏まれていないか、特に排水口が洗濯機の下にある所は入念に確認する
3. 洗濯パンを清掃後、排水口に消臭と消毒の為アルコールを噴霧
4. 移動した物を元の場所に戻し、居住者に確認して頂く
5. 洗浄前に流れの悪かった場合は水を貯めて流れの確認をして頂く

④浴室

《準備》

1. 足マットを水がかからない所に移動し足元まで養生する
2. 物を移動する場合は居住者の了解を得て行う
3. 洗浄後の流れ確認の為、居住者の了解を得て浴槽に半分程度まで水を貯める
※浴槽にあらかじめ水が張ってある場合は居住者に使用の了解を頂く
4. カップを取り外しブラシにて清掃 異物が有る場合は取り除く
5. 排水口を確認 異物が有る場合は取り除く

《作業》

1. 高圧洗浄（ジェットホース）にて排水口トラップの奥より洗浄
・洗浄ホース（スネークホース）が入るつくりの場合は洗浄ホースにて洗浄
2. 洗浄終了後 浴槽の水を排水し流れを確認
※洗い場に水が上がらない事を基準とする
3. カップ、排水口を清掃後、排水口に消臭と消毒の為アルコールを噴霧
4. 移動した物を元の場所に返し、居住者に確認して頂く
5. 洗浄前に流れの悪かった場合は水を貯めて流れの確認をして頂く

■部屋内 作業終了

1. 作業責任者が各箇所確認表にて点検をする
（移動した物、消灯、蛇口の締め忘れ、通路に水が落ちていないか等）
2. 全箇所点検が終了したら、各箇所の洗浄の結果を居住者に報告し確認して頂く
3. 養生シートを片付け、「ご協力ありがとうございました」と元気にあいさつをして部屋を出る

■共用部 作業開始

1. マンホールを1つずつ開け、管内の状況を確認
(汚れ具合、水が貯まっていないか・管が割れていないか等)
 - ・共用部マンホールを開放する場合はカラーコーンを立て作業員を一人つける
2. 高圧洗浄(本管専用スネークホース)を上流より順に行う
 - ※先端ノズルの外れに注意
 - ・建物側に高圧洗浄をかける際はホースの入れ過ぎにより部屋内にホースが出てしまわない様、細心の注意を払う
 - ・高圧洗浄の際、脱管の症状が無いに注意をする(石、砂利等が出ていないか)
3. 管内洗浄が終了したら、マンホール内、マンホール周り及びマンホール蓋の洗浄を高圧洗浄(ジェットホース)にて行う
4. 洗浄作業が終了したらマンホール蓋を閉める
 - ※ぐらつきがないか確認する
5. 水の流れを確認する為(均配が適切か)上流より水を流し、流れを確認する
 - ※不良箇所は写真を撮る
6. 全箇所終了したら閉め忘れが無いか確認する

■全作業終了

1. 不在宅を再度訪ねる
2. 高圧洗浄の片付けを行う
 - ・使用した道具の清掃を行いアルコールにて消毒する
3. 忘れ物がないか、写真の撮り忘れがないか全員で確認する
4. 管理員に清掃の結果報告を行い 異常箇所があった場合は報告する
5. 管理員に全員であいさつをする
6. 会社(すみき〜る)に終了の連絡をする
 - ※異常箇所等を必ず報告